

カリキュラム・ポリシー(抜粋)

修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、生命科学に関する幅広い学識と倫理観、国際的視野を備え、高度な専門知識と研究開発能力で社会に貢献できる人材を育成するための教育課程を編成する。

ディプロマ・ポリシー(抜粋)

修士課程においては、生命科学に関する幅広い学識と倫理観、国際的視野を備え、高度な専門知識と研究開発能力で社会に貢献できる人材の養成を目的とし、所定の期間在学し、以下の知識・能力等を身に付け、生命科学専攻で定める所定の単位を修得し、かつ、修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士(理学)の学位を授与する。

